

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

| | 項目数 |
|--------------------------------|-----|
| I. 理念に基づく運営 | 11 |
| 1. 理念の共有 | 2 |
| 2. 地域との支えあい | 1 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | 3 |
| 4. 理念を実践するための体制 | 3 |
| 5. 人材の育成と支援 | 2 |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | 2 |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | 1 |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | 1 |
| III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | 6 |
| 1. 一人ひとりの把握 | 1 |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | 2 |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | 1 |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | 2 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | 11 |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | 9 |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | 2 |
| 合計 | 30 |

| | |
|-------|---------------------|
| 事業所番号 | 1273200582 |
| 法人名 | 株式会社リエイ |
| 事業所名 | コミュニケア24 癒しの浦安ふじみ館 |
| 訪問調査日 | 平成 21 年 2 月 17 日 |
| 評価確定日 | 平成 21 年 3 月 10 日 |
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 日本高齢者介護協会 |

○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

| | |
|---------------|--|
| 事業所番号 | 1273200582 |
| 法人名 | 株式会社 リエイ |
| 事業所名 | コミュニケア24 癒しの浦安ふじみ館 |
| 所在地 (電話番号) | 〒279-0043 浦安市富士見2-21-36 (電話) 047-381-6514 |

| | | | |
|-------|----------------------------|-------|------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 日本高齢者介護協会 | | |
| 所在地 | 〒113-0021 東京都文京区本駒込3-15-10 | | |
| 訪問調査日 | 平成21年2月17日 | 評価確定日 | 平成21年3月10日 |

【情報提供票より】(平成21年 1月29日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|-----------------|--------------------------------|------|
| 開設年月日 | 平成 12 年 5 月 1 日 | | |
| ユニット数 | 2 ユニット | 利用定員数計 | 18 人 |
| 職員数 | 22 人 | 常勤 10 人, 非常勤 12 人, 常勤換算 10.5 人 | |

(2) 建物概要

| | | |
|------|---------|-------------|
| 建物形態 | 併設 | 新築 |
| 建物構造 | 鉄筋耐火 造り | |
| | 3 階建ての | 2 階 ~ 3 階部分 |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | | |
|---------------------|---------------|----------------|----------|-------|
| 家賃(平均月額) | 89,000 円 | その他の経費(月額) | 45,000 円 | |
| 敷 金 | 無 | | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 有(720,000 円) | 有りの場合 償却の有無 | 有 | |
| 食材料費 | 朝食 | 450 円 | 昼食 | 600 円 |
| | 夕食 | 700 円 | おやつ | 円 |
| | または1日当たり | | 円 | |

(4) 利用者の概要(1月29日現在)

| | | | | | |
|-------|-----------|---------|---------|----|------|
| 利用者人数 | 18 名 | 男性 | 4 名 | 女性 | 14 名 |
| 要介護1 | 1 名 | 要介護2 | 6 名 | | |
| 要介護3 | 5 名 | 要介護4 | 3 名 | | |
| 要介護5 | 3 名 | 要支援2 | 0 名 | | |
| 年齢 | 平均 83.1 歳 | 最低 65 歳 | 最高 96 歳 | | |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|------------------------------------|
| 協力医療機関名 | コミュニケアシニアクリニック、市川東病院、デンタルサポート西葛西歯科 |
|---------|------------------------------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

1. 近くのスーパーへの買物、外食、散歩等気軽な外出を習慣化したり、あるいはホーム内でも車椅子の使用を出来るだけ抑えて付き添いながら歩行機能の維持・向上に努めるなど、利用者の「出来ること」にこだわりを持って自立度の高い生活が送れるよう支援しています。2. 毎日、天候を問わず、職員が利用者につき添ってスーパーへその日の食材等を買いに出かけ、一緒に楽しく家庭的な料理を作って食事を摂っています。3. 運営推進会議を開催し、地域行事に参加するだけでなく介護予防教室を開くなど、地域福祉への貢献を重視した活動に取り組んでいます。4. ホームの屋上は、その一角にプランターや菜園壇を設えてあり、野菜等の種まきから、育成、収穫、食までを皆で楽しんだり、あるいは涼みも兼ねて浦安花火大会やディズニーランドの花火を観賞するなど、多目的に利用されています。

【重点項目への取り組み状況】

| | |
|-------|---|
| 重点項目① | 前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) |
| | 主な改善課題は、1. 地域との付き合い、2. 家族の意見等の反映、3. 職員を育てる仕組み、4. 利用者本位の介護計画作りですが、すべての項目において改善されています。 |
| 重点項目② | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) |
| | 運営者と管理者が中心となって定例職員会議で自己評価の意義を職員に説明し、よく理解してもらい、それぞれの役割に応じて自己評価に取り組んでいます。 |
| 重点項目③ | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) |
| | 運営推進会議は2ヶ月毎に開催されています。主な討議事項は、1. 活動報告、2. 事故報告、3. 医療サービス提供範囲、4. 防災問題等です。1, 2項はルーティンテーマで、夫々その時々々の行事等の活動報告、転倒等の事故報告(対応を含む)です。3項は医療サービス提供範囲についての主治医による説明と意見交換、4項は火災発生時の初動態勢等について消防本部員による講習と意見交換です。そこで検討された具体的対策を運営に活かすべく取り組んでいます。 |
| 重点項目④ | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) |
| | 月1回、本人の健康状態を示す個別記録を翌月の予定表、金銭出納帳と担当職員からの暮らしぶり等の手紙と一緒に各家族へ送付しています。更に、家族の面会の度に声をかけ、意見等を聞くように努めています。体調の変化時等には、必要に応じて家族へ電話を入れ、話し合って対応しています。運営推進会議においても家族が参加し、意見等をオープンに述べる機会を提供し、そのための対策を運営に活かしています。外部苦情相談窓口には、苦情等は来ていません。 |
| 重点項目④ | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) |
| | 散歩や買物等の外出時には、近隣の人たちと気軽に挨拶や会話を交わっています。散歩中、近所の人から庭の花や果実をもらったりしています。自治会の一斉掃除や夏祭り等の町内行事に、あるいは“ふれあい祭り”、敬老会等の地域行事にも積極的に参加しています。今後も、推進会議メンバーや地区の民生委員と連携して、ホームの力量も踏まえつつ地域の高齢者やその家族の支援のため“在宅介護教室”や“介護相談室”等を開いて地域福祉の向上に一層貢献することが期待されます。 |

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------------|----|---|--|-----------------------|---|
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 運営理念は「人は人によって癒されるを忘れずに～」「私たちは高齢者の方と一体となって～」ですが、実際には自治会や運営推進会議の活動を通して地域密着型サービスが利用者に提供されています。しかし、それを具現化した、ホーム独自の新しい運営理念はまだ作られていません。 | <input type="radio"/> | 運営者、管理者、職員がみんなで話し合っ、早急に地域密着型サービスの指針を反映する運営理念を構築することが望まれます。 |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 従来の運営理念を月1回の定例職員会議等で確認、共有し、日々の介護に取り組んでいます。また、実質的に地域密着型サービスの運営が展開されていますが、新しい運営理念構築の下で日々の介護の実践を検証するまでに至っていません。 | <input type="radio"/> | 新しく構築される運営理念を職員を始めとする関係者の目に付きやすい場所に掲示すると共に、全ての職員が日々実践する介護がこの運営理念に適っているかどうかを定例職員会議等で検証していくことが望まれます。 |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 一昨年の移転時から自治会に加入し、町内一斉掃除、夏祭り等の行事や、近くの公民館での「ふれあい祭り」や文化センターでの敬老会等地域の行事にも積極的に参加しています。散歩時や買物時には近所の人と気軽に挨拶や会話を交わしています。 | <input type="radio"/> | 運営推進会議メンバーと連携して、地域の高齢者やその家族の支援のため“在宅介護教室”や“介護相談室”等を開いたり、ホーム便り等で運営理念を地域へ浸透させていくことが期待されます。なお、その際併設のデイサービスや居宅介護支援事業所と協働すれば取り組み易いものと思われま。 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 運営者と管理者が定例職員会議(一部の利用者も出席)で自己評価と外部評価の意義を職員に説明し、理解してもらっています。自己評価と外部評価で明示された改善課題についてそれぞれの役割に応じて取り組んでいます。 | | |
| 5 | 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 推進会議は2ヶ月ごとに開催されています。メンバーも利用者、家族、自治会役員、市担当、地域包括支援センター、ホーム代表/職員等とほぼ申し分ない構成ですが、高齢者との接点を持つ民生委員の参加も検討することが望まれます。主な討議事項は主治医のサービス提供範囲、防災問題等で、討議内容を運営に活かすべく取り組んでいます。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------|----|--|--|------|----------------------------------|
| 6 | 9 | ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 介護保険更新申請手続きや介護相談員受入れのため、介護保険課と接触しています。市担当課に相談のあった高齢者への最適なサービスについても協議、検討します。その他、市地域密着型事業者連絡会で介護保険課及び地域包括支援センターと防災等の行政情報について意見交換しています。 | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 月1回、本人の健康状態の個別記録に翌月予定表、小遣い銭出納帳と担当職員からの暮らしぶりの手紙を添えて各家族へ送付しています。家族の面会時には、その都度、声かけし本人の近況を報告したり、体調の変化等がある時には、家族へ電話連絡し、対応を説明しながら話し合っています。 | | |
| 8 | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 家族の面会の度に意見等を聞くよう努めています。外部者の出席する運営推進会議に2～3名の家族が出席しており、オープンに意見等を表す機会が提供されています。また、そこで検討された内容を運営に活かすべく取り組んでいます。契約書に明記の外部苦情相談窓口には、今のところ苦情等は来ていません。 | | |
| 9 | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 職員の離職を最小限に抑えるため、管理者と職員の風通しの良いコミュニケーションと職員一人ひとりの介護サービスに対する理解を高めることを重視しており、定着率は高く維持されています。新人等に代わる場合は、利用者とお互いに慣れるまで、現任の職員が約1ヶ月新人等に付き添います。 | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 半期ごとにホーム独自の研修計画を立て定例職員会議の場で研修を実施しています。その他、月1回レベルに応じた本部研修や外部研修(本部またはホームからの要請による)があります。外部研修受講者は定例職員会議で他の職員へ報告しています。新人には約1ヶ月間現任の職員が付いてOJTを行っています。 | | |
| 11 | 20 | ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 市地域密着型事業者連絡会は概ね2ヶ月に1回、市の会議室で開催されており、事例等の検討や参考情報の交換をしています。また、各事業所職員による相互施設訪問を行い、互いに学びあう機会を作っています。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|--|--|------|----------------------------------|
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 入居前の体験入居を、1週間程度から、長く必要な方には1ヶ月程度行っています。慣れるのに時間のかかる方には、家族にホームに来て頂いたり、電話で本人と家族が話しをするなどの配慮をしています。また職員も本人とコミュニケーションを取り、雰囲気に馴染めるように努めています。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 料理の得意な利用者から味つけのコツを教わり、職員と一緒に野菜を切るなどの下ごしらえを行っています。このホームには屋上があり「屋上菜園」で土いじりの好きな利用者と野菜を作っています。さやえんどうが食べ頃になっていました。補助的ではありますが、新鮮な食材として使われています。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | アセスメントシートに、本人や家族からの希望を把握した内容を記載しています。意向の把握が困難な利用者に対しては、職員がジェスチャーで利用者の反応を観察し、利用者が喜んでいるのか、拒否をしているのかの見極めに努めています。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 例えば帰宅願望の強い利用者に対して、落ち着いて生活が出来るように、管理者やケアマネジャー、職員が意見を出し合い本人や家族の意見も参考にし、介護計画を作成しています。また、必要に応じて、医師や看護師とも連携を取り介護計画に反映しています。 | | |
| 16 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 利用者が骨折したり、入院になったような場合にはケアカンファレンスを開き、見直しを行っています。少しでも変化があった利用者に対しても、ミニカンファレンスで必要に応じて臨機応変に見直しが行なわれています。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---|----|---|---|------|--|
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用) | | | | | |
| 17 | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 概ね1ヶ月に2回医師の訪問診療があり、歯科医の訪問診療も週1回行われています。看護師の資格を有する職員がいるので、健康面での安心感のあることが家族アンケート結果から窺えます。また、お墓参りや自宅へ日帰りする場合に、職員が付き添っています。 | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 入居前からの馴染みのかかりつけ医がいる利用者は、家族が通院介助を行っています。家族が行けない場合や、急に受診が必要になった時は、職員が付き添い支援しています。 | | |
| 19 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 家族と看取り介護について話し合い、家族から同意書を頂いています。家族と職員間、看護職員や医師との話し合いも行われています。 | ○ | 今後更に、このホームでどこまで出来るかなど、職員と情報・意識を共有するとともに、利用者が重度化した場合について家族と詳細な同意書を交わしておくことが望まれます。 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 利用者の名前は、さん付けで呼ぶように気遣いをしています。排泄介助の時に、利用者の状況に応じて外で待つ場合や、中にいる時はロックをし、視線を外すなどの配慮をしています。個人情報については、口外しないように努め、記録は鍵のかかる場所に保管しています。 | | |
| 21 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 朝は、基本的には6時頃起床、7時から8時が朝食としています。早起きの利用者や、起きづらい利用者には、朝食の時間帯は利用者本位に支援をしています。入浴や就寝時間についても同様に利用者の希望に添って対応しています。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|----|---|--|------|--|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 馴染みのお茶碗、お箸、湯のみを持参していただき、家庭の雰囲気に近い配慮をしています。職員と利用者が一緒に食材を買いに行き、献立に活かしています。また、職員と共に食材を刻んでいる光景が見られました。利用者の健康状態により、塩分控えめなどの細かい気づかいをしています。 | | |
| 23 | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 基本的には、週に2～3回は入浴できるように支援しています。午後の3時過ぎから入浴ができます。どうしても気が進まない利用者には無理強いせず、翌日に延ばしたり清拭に変更したり利用者のニーズに合わせて入浴が楽しめるように配慮しています。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 掃除の好きな利用者が、共有スペースを掃除機で自主的に掃除をしていました。料理が得意な利用者、野菜や花を育てるのが好きな利用者など、それぞれの生活歴を活かせるよう支援をしています。また、利用者と職員と一緒に歌を歌ったり、ゲームや麻雀をして楽しんでいます。 | | |
| 25 | 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 週3回の散歩の他、毎日のスーパーでの食材や日用品の買い物に散歩を兼ねて利用者と職員と一緒に出かけています。散歩に行く場合は、時々はおやつや飲み物を持参し、公園などで休憩をはさんで利用者の希望に添うように配慮をしています。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 玄関は10時から4時まで鍵をかけていません。玄関から出入りすると、音で察知出来るようになっていました。音が静かなので、センサーが作動してもうるさくはありません。夜間は安全の為に施錠をしています。 | | |
| 27 | 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 消防署立会いの消防訓練とホームの自主避難訓練を各々年1回実施しています。火災発生の頻度の高い夜間を想定した訓練はまだ行われていません。防火管理者は選出されていて、ホーム作成の避難マニュアル(緊急連絡網、各職員の役割分担、避難経路等)も作られています。推進会議で近所の協力について話し合っています。 | ○ | 運営推進会議でも去年、消防本部から講師を招いて初期消火、避難対応等の初動態勢を学んでいます。21年度は消防法施行令改正に従って、運営推進会議を通じて近所の人たちとの協力を得、夜間想定を含む防災訓練を実施することが望まれます。 |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------|----|---|--|------|--|
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 本部の栄養士が、2～3ヶ月に一回、約2～3週間分の献立から栄養摂取量のチェックを行っています。その結果をふまえて、その後の献立に活かしています。水分は、毎食後のお茶、10時と3時のティータイムの他、散歩や入浴後にも取るように支援しています。 | ○ | 毎日の水分摂取量の把握は、健康管理上や体調変化時に役立ちます。利用者一人ひとりの一日の水分摂取量を何らかの形で記録しておくことが望まれます。 |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1) 居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居間、食堂等には左右の大きなガラス窓から自然光が十分射し込んでいます。廊下やトイレ等も適度の照明が付いており、浴室も照明のほかに明かり取り窓があります。居間にはカレンダー、時計等が掛けられ、花瓶には寒桜等が活けてあり、木目込みの大きな内裏雛等も飾られています。テレビの前に大きなソファが置かれ、季節感や生活感が工夫されています。 | | |
| 30 | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 各居室には鏡付洗面台とクロークが備え付けとなっています。配偶者の仏壇、結婚式等の思い出の写真、使い慣れたテレビ等の家電品、椅子等の家具、馴染みの化粧台等が持ち込まれていて快適に暮らせるよう配慮されています。 | | |